

宮トンネル着工

光に魅せられて作った、当時を語る紙芝居

古田 民子

夜おそく仕事をしていると、突然我が家を光がゆつくりつむ一瞬があるのです。それは宮トンネルをぬけて高山へ向う夜汽車の光です。この光は不思議と私の一日のつかれをいやしてくれるのです。このトンネルは、いつ、どんな風に造られたのか調べたいと思い、何人かの人に助けられて故中島彦左工門さんに出会ったのです。

中島さんははつきり工事のことを記憶しておられ、楽しそうにいろいろなことを話して下さいました。

二十四時間トンネルの中で仕事をする人達のためにいつでも入れる風呂屋があり、食事所があり、芝居小屋があり、テニスコートもあったようです。



宮トンネルの前に作られた工場や事務所

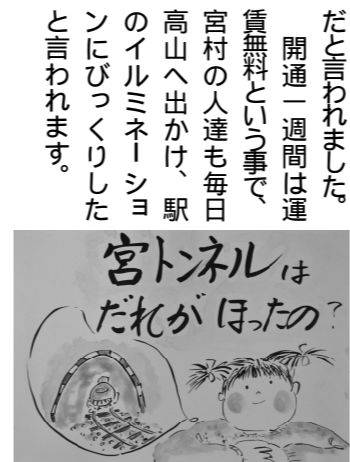
この話を私一人のものにするのはもったいないと思ひ紙芝居を作ることになりました。しかし、描かれた絵は私の想像ではなく、古い写真を描いたものなので事実の姿です。

紙芝居という形でまとめていますが、ドラマではなく記録集といったものです。明治四十四年に、なんと高山へ汽車を...、という願いが出されたのですが、いろいろな壁にはばまれ、願いがなかったのは昭和に入ってからです。しかも、美濃側を通す案と郡上側を通す案で論争となり、また時が流れたのです。

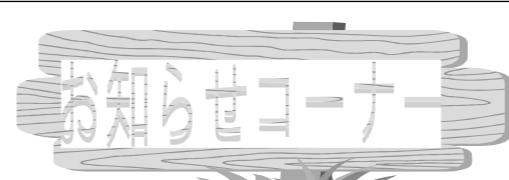
当時の日本の経済状態はとても悪かったようで、「宮トンネル着工」の報が出るや全国からトンネル掘りの腕自慢が宮村へ集結し大変な騒ぎとなったようです。

中島さんは当時小学生だったそうで、着物の宮村の子どもと、洋服姿の工事関係者の子どもが仲よく学校生活を送った...、と笑顔で話され、高等科二年の時、完成したばかりの高山線を利用して修学旅行に行けた事は一生の思い出と言われました。

開通一週間は運賃無料という事で、宮村の人達も毎日高山へ出かけ、駅のイルミネーションにびつくりしたと言われます。



古田さんの作った紙芝居の表紙



バイクモひっこし作戦ボランティア募集!

国道41号線「水無橋」架け替え工事に先立ち、橋周辺の常泉寺川に生育するバイクモ(梅花藻)の移植会の前準備としてのボランティアを下記の通り募集します。

内容は、川やその周辺の雑草除去やゴミ拾いなどです。町民のみなさまの協力(ボランティア)をお願いします。

日時：7月15日(火) 午前9時~12時 (雨天決行)

集合場所：水無神社前に9時集合

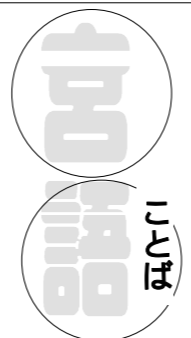
長靴等作業のできる服装で参加してください。

なお、翌日の16日(水)午前8時30分からは、バイクモを守る会が中心となり、宮小学校6年生も参加して、専門家から話を聞いた後に移植会が行われます。

お問合せは早川克也さんまたは神谷輝行さん(53-2139)まで

編集後記

みなさんこんにちは! まち協協足に伴い広報委員長を任せられました広報委員会の山腰進です。これからほかの広報委員と協力して「まち協だより」を発行していきたいと思っておりますので、みなさん



「じがわく」

今年には空梅雨なのか雨があまり降りません。ついこの間夕立が降って、畑の野菜も元気になりましたが、雑草も野菜以上にはびこってしまいました。

「これ、隣の姉様(ねさま)、この畑の草見てくださいよ! おりみたいにでこなってしまうって、こないだとったばっかりやぞ。」がわくな。

何つくつとるんやわからんな

「この辺に花の種まいとったけど、草にやら

れてまっつて、まだこんにちんびくさいさ、こりやー花もよう咲かんかかもしれんな、ああ、こがわく、

「こがわく」は、頭にくるとか、腹が立つ、イライラするといった意味で使われるようです。「こ」は仏教用語の「業」からきているようで、「業苦」とか「業腹」という言葉もあります。ちなみに「業腹」とは非常に腹の立つこと。

この例のように草に腹を立てる人は、今の時期とても多いようです。この夏、草こときにこをわかつて、かっかして熱中症にならないように気をつけたいものです。

図書館だより

今月の特集

- 1 夏休み自由研究・工作コーナー
もつすく夏休み! 自由研究や工作に関する本を集めました。
- 2 七夕と星座
星や星座をテーマに資料を紹介します。

夏休み分館上映会「のお知らせ」

- ・日時 8月6日(水) 午前10時~11時
 - ・場所 一之宮公民館 和室
 - ・上映作品 ・にやーこ ・ぶた
 - ・くんと100ぴきのおおかみ
 - ・ヨウカイとむらまつり
- 入場無料です。当日会場へお越しください。

お知らせ

- ・夏休み期間中は10時~17時までスタンプがいます。
- ・おはなし会のご案内
7月19日(土) 午前10時30分
スタッフによる絵本や紙芝居の読み聞かせをします。お気軽にご参加ください。

日	曜	3	4	12	12	12	13	16	18	19	22
木	金	土	土	土	日	水	水	金	土	火	火
心配ごと・結婚相談 (交流館)	行政相談(交流館)	サタデイサークル	「わたしの町ほけん室」 勉強会in一之宮(公民館)	資源ゴミ拠点集積所開設	高山市水道水源保全策 市民説明会(支所)	宮小中学校終業式	全市一斉ラジオ体操	町内会長・班長会			

世帯数	824戸		
年齢	男性	女性	合計
0~14歳	200	164	364
15~64歳	732	745	1,477
65歳以上	313	447	760
合計	1,245	1,356	2,601

5月1日現在・単位：人

元宮村長小野榮市氏追悼のごとば

元収入役・助役 三木忠三

元宮村長小野榮市氏が、去る六月八日突然逝去され、驚きと深い悲しみと寂しさで胸が痛みました。

昭和五十七年七月に宮村長に就任し、歴代村長の偉業に感謝の念を常に持ち、村長の激務を遂行されてきました。

なかでも、昭和六十三年八月に発生した水無神社裏山の地すべりは、村において未曾有の大災害であり、十五世帯六十五人が村民会館へ緊急避難をしました。一刻も早い復旧に日夜不眠不休で県と国へ支援要請に奔走されて無事復旧を果たされました。

翌年は平成と年号がかわり、また立村百周年の記念すべき年でもあり、各種のイベントを行い、村民こそって参加し祝ったことが、つい先日のように思い出されます。

小野村長の十二年間は、生活基盤、社会福祉教育等の施設整備等に数多くの業績を上げられて村の更なる発展に大きく寄与されました。その功績により平成十一年四月、勲五等瑞宝章の栄えある叙勲を受章されました。

小野氏は酒豪家であり、豪放いらくにして人情味厚く誰にでも誠心誠意、公平無私で接し、人間味豊かな性格の持ち主でした。村職員はもとより、多くの村民の皆さんのみならず他の市町村や県、国の関わりの方々に温かい親しみと信頼を得ておられ徳の高い人でした。

私は、小野村長の補佐役として昭和六十年四月から九年四ヶ月を務めてきましたが、その職責に十分応えられなかったことを申し訳なく思っております。

ここに、元小野村長の生前の偉業に尊敬と感謝の意を捧げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成二十六年六月

公民館から

- 展示コーナー
牛丸正男書道作品展
(7月中旬まで)
- 7月の公民館定休日
14日(月) 22日(火)
- 7月の位山交流館定休日
7日(月) 14日(月) 22日(火)
28日(月)

つばやき

「協働のまちづくり」が始まり、目標は「すつと住みたい・くらしたい一之宮町」。子ども達にはあいさつ運動があつて、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「くそすつさまです」の会話は当たり前...、ところが大人はどうでしょうか。見ず知らずの人でも通りすがりの時あいさつがあつてもよいのでは。ウオーキング、犬の散歩、農作業等、結構すれ違いますが、でもなかなかあいさつは出来ないもの?! あいさつが出来れば自然と親しくなれ、笑顔も出て来ます。それが住みよい町への一歩になるのでは...。

(あこいちはなな)

小型ポンプ操法で一之宮支団が3位に



見事な動きでポンプやホースを操作する団員のみなさん

第10回高山市消防操
法大会が6月15日に国
府町スポーツ公園多目
的グラウンドで開かれ、
一之宮支団は見事3位に輝きまし
た。
今年の大会は小型ポンプの的確
な操作や放水の正確さと速さを競



喜びの5人。お疲れ様でした

う小型ポンプ操法で行われ、8支
団が出場しました。
一之宮支団から出場したのは、
指揮者の役田一祥さん以下、大江
正樹さん(1番員)、高橋和彦さ
ん(2番員)、小野隆大さん(3
番員)、住雅幸さん(補助員)の
5名。今年の1月から大会に備え
て練習を重ねてきました。
大会には家族のほか関係者が応
援に駆けつけ、エールを送ると
もに、素晴らしい成績を称えまし
た。
優勝は丹生川支団、2位は久々
野支団でした。

一之宮まち協だより

第2号
平成26年7月1日
一之宮町
まちづくり協議会
広報委員会
高山市一之宮町3087
電話 53-2424

宮景

苅安牧場



モンデウススキー場の隣にある苅安牧場では、今年は例
年の10日遅れの5月25日から牛の放牧が始まっています。

牛の放牧は、牧場としては、牛を運動させることにより
牛を健康にし、ストレスも軽減でき、結果として良質な牛
乳の生産につながるというメリットが期待できま
す。一方、スキー場としても、牛がグレンデの草
を食べることで夏場の環境整備になります。つま
り両方にメリットがあるわけです。

放牧は、暑くなる7月、8月は夜間の放牧にな
りますが、9月過ぎの涼しくなったら、また
昼間の放牧になります。

今年の夏、この牧歌的な風景を見に、ぜひスキー
場まで足を運んでください(そして、おいしい飛
騾の牛乳もぜひ飲んでくださいね!)

広報委員 野添一幸

注意：牧場の柵になっている針金の線には電流が
流れているので、触らないようお願いします。

ニュースのひろば

臥龍苗女川寄贈報告会と 震災体験講演会が宮中で 生かされていくよ考えて

臥龍苗女川寄贈報告会と震災
時の状況やその後の被災地の現状
について語る講演会が、6月4日
に宮中学校体育館で中学生全員を
対象に行われました。
この報告会と講演会は、「一之宮
町まちづくり協議会設立記念事業」
の一環として行われたものです。

5月6日に宮城県女川町に桜の
苗木を届けた一之宮支所の山本哲
夫次長の報告会に続いて、女川町
で被災し、その後高山に移住して
レストランを経営している末永賢
治氏が講演をしました。

末永さんは、女川の震災被害を
震災前の町の様子を紹介しながら
説明し、震災時の様子、特に海岸
沿いの人たちが早く避難したのに
比べ、高台の人がここは大丈夫と
思い犠牲になった話などを自らの
体験を通じて話しました。
その中で末永さんは、10年の津



中学生が講演を聞く様子

波が押し寄せるといふアナウンス
の中、実際には津波は遡上して標
高23メートルの自分の店まで押し
寄せ、近所の人が犠牲になるのを
目の当たりにしました。
この体験を通じ末永さんは、
「生かされている」ことについて
考え、命について家族と話し合っ
てほしいと語りかけました。また、
災害に遭遇した時には一人ひとり
の心の目で判断する人になってほ
しいと訴えました。

「生かされている」ことについて
考え、命について家族と話し合っ
てほしいと語りかけました。また、
災害に遭遇した時には一人ひとり
の心の目で判断する人になってほ
しいと訴えました。

サタデイサークル開始 今年5教室に60人参加



公民館で開かれた開講式の様子

平成26年度のサタデイサークル
(土曜体験教室)が今年度は1か
月遅れの6月14日から始まりまし
た。
今年度はスポーツが取りやめられ
またパソコン教室の申込者がいな
かったため、教室数は2つ減って
5教室となり(大正琴、お茶、ロー
ラスキー、卓球、ふるさと探検)、
参加者は60人と昨年より9人減少
しました。うち中学生は4人、高

校生が1人参加しています。

この日は開講式が一之宮公民館
で開かれ、参加者のほか講師や保
護者など70人ほどが集まり、講師
の紹介や約束事について確認しま
した。

サークルは8、9月を除く来年
3月まで合計8回行われ、今年度
はこのほかに単発としての教室が
予定されています。

少年の主張コンクール 宮中3年山腰さん発表

高山市少年の主張コンクールが
6月15日に高山市民文化会館で開
催され、宮中学校から出場した3
年生の山腰美花さんが優秀賞に選
ばれました。

同コンクールは、少年たちが、
家庭・学校・地域活動の中で感じ
考えたことを主張することで、心
豊かにたくましく成長することを
目的に高山市青少年育成市民会議
が主催して毎年行われています。
今年度は市内中学12校から16人
が出場しました。



写真を使って主張する山腰さん

山腰さんは、始めは嫌だった
一之宮が、地域の人や仲間と触れ
あう中で、自分を元気づけてくれ
る存在であったことに気づき、自
然や歴史、人の良さに誇りを持つ
ようになったことを写真を使い主
張しました。

この夏休みは調べもので まちの宝物を考えよう!



調べもの方法を学習する参加者

夏休みの自由研究に役立てても
らおうと企画された「まちの宝物
を考えよう!」が市内6か所で開
かれ、一之宮町では6月15日に飛
騾山文化交流館で開催されまし
た。

参加したのは小学生10名と保護
者4名で、始めに市の担当者から
文化財の種類と高山市や一之宮の
文化財について説明を受け、その
後、国語辞書や百科事典で気にな
る言葉を調べたり、キーワードを
決めて調べる対象を絞っていく方
法を楽しく学習したりしました。
参加した子どもたちには、市内
の図書館で調べ物をした時のスタ

ンブ数に応じて「調べもの博士」
認定証が交付される「調べものス
タンブカード」が渡されました。

宮小5年生が岩瀬交流 岩瀬浜では水質検査も

宮小学校5年生20人が6月20日
富山県岩瀬小学校を訪問し、同校
児童と交流をしました。

この交流会は、源流の宮川から
流れた水が下流域でどのように自
然と開わり、暮らして影響を与え
ているのかを体験を通じて気づこ
うと毎年行われています。

児童たちは、岩瀬浜で海に注ぐ
河口を見学したり、河口では水質
検査も行ったりして源流のきれい
さを実感しました。また、宮小学
校と同程度の規模である岩瀬小学
校5年生と5つの班に分かれて旧
庄屋や富山港展望台等を見学しま
した。

12月3日には宮小学校で学習の
成果を発表する会が開催される予
定です。



岩瀬浜での学習体験を話し合う宮小児童